

ウッドデザイン賞2017を受賞しました

JR秋田支社は、秋田県・秋田市と一体となり、地域と連携して取り組む「ノーザンステーションゲート秋田」として次の20年に向けた秋田の活性化を目指した取り組みを進めています。取り組みの一環として4月1日にグランドオープンしたJR秋田駅及びJR秋田西口駐車場ビルが、この度「ウッドデザイン賞2017」を受賞しました。

1 受賞作品名

ノーザンステーションゲート秋田プロジェクト

2 受賞団体名

秋田公立美術大学、(有)萩原製作所、東日本旅客鉄道(株)

3 受賞作品の概要

JR秋田駅を中心とした中心市街地において、周辺施設の木材活用の動きに協調し、行政・大学・地元企業が連携して、駅、自由通路、待合ラウンジ等を県産材による統一したデザインで木質化しました。観光客の方には林業県の秋田らしさを体感して頂き、地元の方には、居心地の良さから訪れたい場所の創出を目指しました。



撮影：浅川 敏



ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。

これによって“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。

受賞者には、様々な広報・PRの場を提供するとともに、生産から消費に関わる人のマッチングを進めていきます(ウッドデザイン賞2017HPより引用：<https://www.wooddesign.jp/>)。